土質試験機

コーンペネトロメーター

有害ガス 検知器

騒音振動計

軟弱地盤断面の概況(土の硬軟締り具合及びその配列状態)を把握し、軟弱層の土質構成や厚さ、粘性土の 粘着力などを簡便に求めることができるコーン貫入試験機です。

ロッドを人力により地盤中に押込んで、貫入抵抗の変化をプルービングリングにより測定します。

水質測定器

鉄筋探査・

電子天秤・ その他はかり

【S-217】株式会社西日本試験機



測定方式	プルービングリング方式
測 定 容 量	1000N
適用規格	JGS 1431 (地盤工学会基準 (案) ポータブルコーン貫入試験方法)
先端コーン種類	コーン(大): 先端角度30°最大断面積6.45cm² コーン(小): 先端角度30°最大断面積6.23cm²
貫入口ッド	鋼製: φ16×500(L) 50mm目盛
重鍾	ロッド×10本 8.2kg 本体(ケース込み)4.6kg
付 属 品	ロッド×10本、先端コーン (大)、先端コーン (小)、 スパナ、ロッド収納袋、力計対照表

大気環境 測定器

非破壞 検査機器

土質試験機

管理機器

その他測定器

測量機



■主に建設機械のトラフィカビリティ (通行性能)・盛土締め固め管理・ 戸建住宅地の地耐力の判定に使用されています。









使用方法

- ①ハンドル付プルービングリングにロッドおよび先端コーンを取り付けて組み立てます。 試験を始めるに際して土層表面に瓦礫混入部分がある場合には掘り起こし自然地盤を露出させておきます。
- ②コーンペネトロメーターを地盤に垂直に立て、押込み用ハンドル部の重量のみがプルービングリングにかかるように しながら(手の力が加わらない状態)、プルービングリングのダイヤルゲージ面盤を回転して大指針を0に合わせます。
- ③試験を行う地盤に直立させ、押込み用ハンドルを握り、衝撃が加わらないよう、かつ、傾かないよう注意しながら垂直に 圧力を加え、1cm/sec程度の速度で静かに先端コーンを貫入させていきます。
- ④ロッドにつけた10cm間隔の刻線(刻線は5cm毎についています)が地表を通過する毎にプルービングリングのダイヤルゲージの 読みを取り貫入抵抗を求めます。貫入抵抗を求めるためのダイヤルゲージの読み方は、10cmの刻線が地表面に一致したとき 貫入を一時中止し改めて圧力を加えコーンが動き出す瞬間のダイヤルゲージの読みを読み取ります。
- ⑤貫入抵抗の測定は同一試験地点の付近で2回以上行い、各測定深さ毎の平均値を求めます。

その他測量機

環境表示機

ICT施工